

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返 回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	正規化				エラーチェック					
													oid_dへのマッピング	oid_dへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング			
1	Title	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、題名である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトルの言語属性がある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:title出現回数は1回までとする。優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、裏付タイトル等がある場合は、dc:terms:alternative (その他のタイトル) に記入する。コンテンツが図鑑の一部 (巻など) である場合、dc:title (タイトル) には巻などのタイトルを記入し、図鑑全体のタイトルはjpcoar:relation (関連) に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">情報セキュリティ時代の研究基盤構築</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジヨウセキノホウシツシタインノケンキョウキバン</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Latin">Joho bokuhanu jishi no kenkyu kiban koso</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">“国家”旬的反击表达浅析</dc:title>	xml:langの指定がない。記入は推奨しない。 <dc:title>情報セキュリティ時代の研究基盤構築</dc:title> <dc:title xml:lang="jaen">情報セキュリティ時代の研究基盤構築 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録名を含めることは推奨しない。収録名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">情報セキュリティ時代の研究基盤構築</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報セキュリティ時代の研究基盤構築</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>	title	xml:lang属性は切り捨てる	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①要素がない。 ②xml:langが重複している。(xml:langがない場合も含む) ③xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。	①xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:langが存在しない。 ②1つ目のデータDuml:langが13 dc:language と異なる。(コードの値を考慮)		
2	Alternative Title	その他のタイトル	dc:terms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、裏付タイトル等本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdc:terms:alternative出現回数は1回以上、複数回繰り返して記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:terms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:terms:alternative> <dc:terms:alternative xml:lang="ja-Kana">データマイニングシタイノサーチノケンキョウ</dc:terms:alternative> <dc:terms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:terms:alternative xml:lang="ja">NDの概要</dc:terms:alternative> <dc:terms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:terms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:terms:alternative xml:lang="jaen">情報セキュリティ時代の研究基盤構築 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:terms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:terms:alternative xml:lang="ja">NDの概要</dc:terms:alternative>	title	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:langが存在しない。			
3	Creator	作成者	jpcoar:creator		FALSE	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。creatorTypeにはコンテンツの作成に直接的に関与した者の役割を規定し、creatorTypeにはコンテンツの作成に直接的に関与した者の役割を規定するcontributorTypeの役割を規定し、creatorTypeは責任者として記入する。	学術論文の場合は必ず記入する。複数の著者が存在する場合は、著一著者から順に記入する。コンテンツ作成に直接的に関与した者を作成者、間接的に関与した者を寄与者として順次に区別し、寄与者の役割であるcontributorTypeの役割を規定し、creatorTypeは責任者として記入する。	<jpcoar:creator creatorType="p"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">夏石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinousuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キノノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator>												①14 dc:type=thesis [acheter thesis/master thesis/doctoral thesis のとき、要素が存在しない。
3.1	Creator Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 30413925 (e-Rad_Researcher), 0000000370057894 (ISNI))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は統制語彙の情報を付与す。IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR							①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)	①nameIdentifierScheme="NRID" (kakenhi) (GRID) が指定されている。		
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) https://isni.org/isni/0000000370057894 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。															
			nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1																
3.2	Creator Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,名」(カンマ+半角空白) とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は漢字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,ミドルネーム,名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。前書きや後記、補記は記入しない。監督者や指導者などの間接的な役割の者はjpcoar:contributor (寄与者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。	<jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 夏石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソフセキ</jpcoar:creatorName>	langの指定がない。記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorName xml:lang="jaen">夏目, 夏石</jpcoar:creatorName>	creator	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:langが存在しない。			
			nameType	FALSE	R	0-1	名前の種類を記入する。姓名に機関名を記入する際は「organizational (機関)」を選択する。															
3.3	Family Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName>												
3.4	Given Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム,名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">夏石</jpcoar:givenName>												
3.5	Creator Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その別名を記入する。記述方法は1つ目または2つ目の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:creatorAlternativeの出現回数は1回までとする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinousuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キノノスケ</jpcoar:creatorAlternative>												
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation			R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>												
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 000000012192178X (ISNI) https://ror.org/057h3y96 (ROR))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を統制語彙から選択して記入する。IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	jpcoar:nameIdentifierの値は統制語彙の情報を付与す。IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>	kakenhi (非推奨) ISNI Ringgold GRID (非推奨) ROR							①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)	①nameIdentifierScheme="kakenhi" (GRID) が指定されている。			
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1																
			nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1																
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。		<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>												

JPCoARスキーマ ver2.0 項目一覧													正規化				エラーチェック								
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	検索回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング						
4	Contributor	寄与者	jpcoar:contributor	contributorType	FALSE	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。 contributorTypeには適切な役割を以下の制限語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、“other”を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other		<jpcoar:contributor xmlns="http://www.jpcoar.org/jpcoar#"><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName><jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName><jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName><jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName><jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName><jpcoar:affiliation><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:affiliationName xml:lang="ja">東京大学</jpcoar:affiliationName><jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName></jpcoar:contributor>		ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other													
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	寄与者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) , 30413925 (e-Rad_Researchers), 0000000378057894 (ISNI)) , nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマを制限語彙から選択して記入する。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。(例: https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) https://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) ,	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合は、必ず nameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR	contributor												
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	jpcoar:contributorName	nameType	FALSE	R	0-1	寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓.△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は漢文字でもよい。三ドルネームがある場合は、「姓.△三ドルネーム.△名」と記入する。 名前と職名を記入する場合は「組織名」を選択する。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、職記は記入しない。肩書きや職名等のようにつなぐ接頭辞はjpcoar:creator (作成者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName><jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName><jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない。記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName>		contributor	xml:lang属性は切り捨てて。											
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	寄与者の姓を記入する。寄与者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>															
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。三ドルネームがある場合は、「三ドルネーム.△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>															
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	寄与者に別名がある場合、その別名を記入する。記述方法および注視点とはjpcoar:contributorName (寄与者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可とする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana", ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。																
4.6	Affiliation	寄与者所属	jpcoar:affiliation			R	0-N	寄与者の所属する機関。		<jpcoar:affiliation><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>															
4.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 000000012192178X (ISNI) , https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) , nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の制限語彙から選択して記入する。 - kakenhi (非推奨) - ISNI - Ringgold - GRID (非推奨) - ROR, nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式 (例: https://isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合は、必ず nameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier>	kakenhi (非推奨) ISNI Ringgold GRID (非推奨) ROR														
4.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	機関ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部門名など下位機関の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>															
5	Access Rights	アクセス権	dc:terms:accessRights	rd:resource	FALSE	M	1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の制限語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有り	コンテンツのライセンスに関する情報はdc:rights (権利情報) を参照する。 (Embargoed access) の場合は、date: date (日付) <dateType="Available">を指定し、利用開始日を記入する。	<dc:terms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dc:terms:accessRights><dc:terms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dc:terms:accessRights><dc:terms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dc:terms:accessRights><dc:terms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dc:terms:accessRights>	embargoed access metadata only access restricted access open access														
6	Rights	権利情報	dc:rights	rd:resource	TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する権利を記す。ライセンス情報は必ずしもライセンスの正式名称とバージョン情報を記入する (例: Creative Commons Attribution 4.0 International) 。その他の場合は、自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その指定に従う。ライセンスにURIがある場合、rd:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を示すことを推奨する (例: https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en) 。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードdc:rightsの出現回数に制限なく、複数繰り返し記して記してよい。	<dc:rights xml:lang="en">rd:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights><dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights><dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	ライセンス情報は短縮形で記入しない。 <dc:rights xml:lang="en">rd:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights><dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>異なるライセンス情報を1要素にまとめて記入しない。ファイル単位でライセンス情報が異なる場合は、別途メタデータレコードを作成する。ファイルの分割が困難な場合は、dc:rightsを繰り返して記入する。 <dc:rights xml:lang="en">CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>		rights												

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧											正規化				エラーチェック					
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意	注	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング	
7	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder			R	D-N	作成者および著者以外の著作権保持者情報を記入する。					rights	xml:lang属性は切り捨てる。						
7.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	D-N	権利者を一筆に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID)・30413925 (e-Rad)・0000000378057894 (ISNI))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の総称語から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakerni - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は総称語等の情報を付与せず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierSchemeを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。				e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakerni (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR			①全角 -> 半角				①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isn.org/isn/0000000378057894 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。												
			nameIdentifierURI		FALSE	R	D-1													
7.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	D-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。												
8	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	D-N	外観名自己記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合、subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。											
			subjectScheme		FALSE	M	1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/00575529)。	研究データの分野が「人文・社会」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">人文・社会</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Humanities & Social Sciences</jpcoar:subject>	研究データの分野が「自然科学一般」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">自然科学一般</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Natural Science</jpcoar:subject>										
			subjectURI		FALSE	MA	D-1													
9	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	D-N	コンテンツの内容を必ず詳細に記述する。データについては、技術的な情報、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の総称語から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。											
			descriptionType		FALSE	M	1	コンテンツの内容を必ず詳細に記述する。データについては、技術的な情報、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の総称語から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other												
10	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	R	D-N	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」とする。前書きは記入しない。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」とする。前書きは記入しない。											
11	Publisher Information	出版者情報	jpcoar:publisher			O	D-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体に関する情報を記入する。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。											
11.1	Publisher Name	出版者名	jpcoar:publisherName		TRUE	O	D-N	略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのjpcoar:publisherNameの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」(姓+名) (姓+名+半角空白) とする。前書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのjpcoar:publisherNameの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」(姓+名) (姓+名+半角空白) とする。前書きは記入しない。											
11.2	Publisher Description	出版者注記	jpcoar:publisherDescription		TRUE	O	D-N	コンテンツの出版者に関して、付記事項がある場合に記入する。	各言語コードのjpcoar:publisherDescriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。											
11.3	Publication Place	出版地	dndi:location		TRUE	O	D-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を記述する場合に使用する。	識別コードはdndi:publicationPlaceに記入する。各言語コードのdndi:locationの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。											
11.4	Publication Place (Country code)	出版地 (国名コード)	dndi:publicationPlace		FALSE	O	D-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を国名コードで記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。各言語コードを記入しない。出版地に関する識別コード以外の情報はdndi:locationに記入する。											

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック				
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化mgなし	正規化mgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
12	Date	日付	date:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD) で記入し、日付の範囲はRMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の制約語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	発行日 <date:date dateType="Issued">2015-10-01</date:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <date:date dateType="Available">2016-01-01</date:date> 日付の範囲がある場合 <date:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</date:date>	dateTypeを省略してはならない。 <date:date>2015-10-01</date:date> 不明な年を記入してはならない。 <date:date dateType="Issued">19--</date:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	date		①全角 -> 半角 ②日付の正規化			①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙が存在しない。 ③W3C Date and Time Formats, RMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 ④MM-DDの妥当性チェック。(周年含む)	①accessRights=embargoed access のとき、dateType=Available の date属性が存在しない。		
13	Date Literal	日付 (リテラル)	dc:terms:date		TRUE	O	0-N	コンテンツの作成、発行等のライフサイクルに関連する日付をリテラルに記入する。 date:date (日付) には、指定された方法により記録された日付情報を記入する。本項目では、指定された方法で記入することができない情報をリテラルに記入し、補充することができる。	出版年をdate:date (日付) に記入する。 不明な日付を置き、date:date (日付) の記入を併せて行うことも推奨する。 コンテンツの内容に関する時間的範囲は、dc:terms:temporal (時間的範囲) に記入する。	日付の年号表示 <dc:terms:date xml:lang="zh-tw">康熙17</dc:terms:date> 日付の範囲の年号表示 <dc:terms:date xml:lang="ja">宝暦年間</dc:terms:date> 支那による表示 <dc:terms:date xml:lang="ja">寛政壬子</dc:terms:date> 不明な年 <dc:terms:date>19--</dc:terms:date>	西暦紀年を補記する。 <dc:terms:date xml:lang="en">1803</dc:terms:date>			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非推奨になる)				
14	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロラジの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1語彙に複数の言語を記入しない。 <dc:language>enjp</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>en g</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	language		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換	①語彙に存在しない。					
15	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙表から選択して記入する。rdf:resourceには各制約語彙に対応するCOAR Resource Type (https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/) のURLを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</dc:type>	resourceタイプ語彙表参照	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①要素がない。 ②語彙に存在しない。(資源タイプ語彙参照) ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文照出チェックへ(別項)						
16	Version	バージョン情報	date:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"マイナーバージョン番号"の形式で記入することができる。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcar:relation (関係情報) に@バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version (出版タイプ) を使用する。	<date:version>1.2</date:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <date:version>ver 1.2</date:version>		①全角 -> 半角	①と3のいずれかを満たさないものはエラーになる。 ①[0-9]+-[0-9]+の形式 ([数字][ピリオド][数字]) ②[0-9]+の形式 ([数字]のみ)						
17	Version Type	出版タイプ	oare:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の制約語彙から選択して記入する。 - AD: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - Pf: Proof - VOR: Version of Record - CVOR: Corrected Version of Record - EVOR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown)	学術雑誌論文 (査読後、最終的に出版社に変更された原稿) の場合 <oare:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4f68893e57aa">AM</oare:version> 出版社版の場合 <oare:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970f48045b8a85">VOR</oare:version>	AD SMUR AM P VOR CVOR EVOR NA	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①語彙に存在しない。	①dc:type=journal articleのとき、oare:versionが指定されていない。					
18	Identifier	識別子	jpcar:identifier		FALSE	M	1-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: http://doi.org/10.18926/AMQ/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://oasclib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URL))。identifierTypeは以下の制約語彙から選択して記入する。 - DOI HDL - URL	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcar:relation (関係情報) に記入する。JALC DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。	<jpcar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcar:identifier>	DOI HDL URL	identifier		①全角 -> 半角	①要素がない。 ②identifierTypeが存在しない。 ③identifierTypeの語彙に存在しない。 ④URL形式チェック ⑤jpcar:identifierRegistrationがあるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。	①jpcar:identifier@identifierType="DOI"が存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]がjpcar:identifierRegistrationに入力されていない。 ②jpcar:identifierRegistration属性がない場合も含む。				
19	Identifier Registration	ID登録	jpcar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JALCスキーマIDを登録する場合、記入する。identifierTypeには登録するスキーマ (DOIの場合はRegistration Agency) を以下の制約語彙から選択して記入する。 - JALC - Crossref - DataCite - PMID (現在不使用)	リポジトリコンテンツの自身のIDはjpcar:identifier (識別子) に記入する。"JALC"または"Crossref"を選択した場合、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeにはjpcar:identifierTypeを指定する。	URLスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcar:identifierRegistration identifierType="JALC">info:doi/10.1594/WOCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcar:identifierRegistration identifierType="JALC">https://doi.org/10.1594/WOCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcar:identifierRegistration>	JALC Crossref DataCite PMID (現在不使用)		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。 ④jpcar:identifierRegistrationが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIがjpcar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。 (identifierType="PMID"のときを除く)	⑤identifierType="JALC/Crossref/DataCite"のとき、JALC DOIのチェック (別項)					

JPCOARスキーマ ver.2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック				
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入し べル	繰返 回数	説明	注意	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化magなし	正規化magあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
20	Relation	関連情報	jpcoar:relation			R	0-N	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。共通の特性を有するデータセットシリーズに属するコンテンツで、データセットシリーズにリンクする場合は、relationType="isSeries"を用いる。著者最終稿から出版者が付したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。relationType="isCitedBy"および"Cites"は論文やデータの参考文献において直接的に引用される場合に使用し、relationType="isReferenceOf"および"references"は直接的な引用ではなく情報源として用いられる場合に使用する。	デジタル化資料から原資料へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isFormatOf"><jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier></jpcoar:relation>											
			relationType	FALSE	R	0-1	シリーズを有するデータセットシリーズにリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSeries"><jpcoar:relatedIdentifier identifierType="NCID">BC03765035</jpcoar:relatedIdentifier></jpcoar:relation>													
20.1	Related Identifier	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2 (DOI) , identifierTypeには以下の制限情報から選択して記入する。 ARK - ark:/ - CRID - DOI - HDL - ICNIR - ISSN - JGLOBAL - Local - PISNN - EISSN - ISSN [非推奨] - NAID [非推奨] - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS	対象に識別子が存在する場合は記入が望ましい。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier (収録物識別子) を使用する。identifierType="ISSN"を付ける。原則使用しない。PISNNまたはEISSNの判別が困難な場合は略して使用する。	ARX arXiv CRID DOI HDL IQJUSHT ISSN J-GLOBAL Local PISNN EISSN ISSN [非推奨] NAID [非推奨] NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS	relation									
			identifierType	FALSE	M	1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2 (DOI) , identifierTypeには以下の制限情報から選択して記入する。 ARK - ark:/ - CRID - DOI - HDL - ICNIR - ISSN - JGLOBAL - Local - PISNN - EISSN - ISSN [非推奨] - NAID [非推奨] - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS													
20.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) に記入する。該当する識別子が存在しない場合には必ず記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出発回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目標した中高大、日本人院生、外国人院生のチームチャレンジによる変遷</jpcoar:relatedTitle>	relation	xml:lang属性は切り替える。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)						
21	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出発回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal><dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>	coverage									
22	Geo Location	位置情報	datacite:geoLocation			O	0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。	ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation><datacite:geoLocationBox><datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude><datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude><datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude><datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude></datacite:geoLocationBox></datacite:geoLocation>											
22.1	Geo Location Point	位置情報 (点)	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。												
22.1.1	Point Longitude	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。											
22.1.2	Point Latitude	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。											
22.2	Geo Location Box	位置情報 (空間)	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。												
22.2.1	West Bound Longitude	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。											
22.2.2	East Bound Longitude	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。											
22.2.3	South Bound Latitude	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。											
22.2.4	North Bound Latitude	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。											

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧														正規化				エラーチェック						
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	検索 回数	説明	注意	注	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング					
22.3	Geo Location Place	位置情報 (自由記述)	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	D-N	コンテンツが地理上の地点の名前を記入する。			<datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>		coverage											
23	Funding Reference	助成情報	jpcoar:fundingReference			MA	D-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。			<jpcoar:fundingReference> <jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder"> <jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder"> https://doi.org/10.13039/501100000780 </jpcoar:funderIdentifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <jpcoar:awardNumber awardURL="http://cordis.europa.eu/project/rcv/100603_en.html"> 284382 </jpcoar:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>													
23.1	Funder Identifier	助成機関識別子	jpcoar:funderIdentifier		FALSE	MA	D-1	助成主体の永続的な識別子をHTTP URI形式で記入する。funderIdentifierTypeは統制語彙から選択して記入する。	Crossref Funder IDまたは資金配分機関コード (e-Rad_funder)の使用を推奨する。 Crossref Funder ID、e-Rad資金配分機関がない場合に限り、その他の識別子を記入する。 (参考) 主な助成機関識別子: https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/habunikikan.csv		<jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder" SchemaURL="https://www.crossref.org/services/funder-registry"> https://dx.doi.org/10.13039/501100002241</jpcoar:funderIdentifier>	Crossref Funder e-Rad_funder GRID (非推奨) ISRT ROR Other												
23.2	Funder Name	助成機関名	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名前を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、各言語コードのjpcoar:funderName出現回数は1回までとする。		<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>													
23.3	Funding Stream Identifier	プログラム情報識別子	jpcoar:fundingStreamIdentifier		FALSE	O	D-1	Crossref Funder Registryは、組織 (上位) > 組織 (下位) > プログラム情報 > ... のように階層化登録されているため、プログラム情報に該当する識別子を記入する。 例 文料番: https://dx.doi.org/10.13039/501100001200 > JST: https://doi.org/10.13039/501100002241 > ムーンショット型研究開発プログラム (JST): https://doi.org/10.13039/501100002093 (参考) 体系的番号 (https://www.nistep.go.jp/fuksei/) の「種別コード」と「助成・事業の特定コード」を合わせたもの (例: 科学技術振興機構 (JST) のムーンショット型研究開発事業は、機関コードM)、機関・事業の特定コードMSを合わせた「MMS」を入力する)	Crossref Funderの場合 <jpcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="Crossref Funder" SchemaURL="https://doi.org/10.13039/501100002241"> https://doi.org/10.13039/501100002093 </jpcoar:fundingStreamIdentifier> 体系的番号におけるプログラム情報コードの場合 <jpcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="IGN_fundingStream" MMS"> </jpcoar:fundingStreamIdentifier>	Crossref Funder - Crossref Funder Registryのプログラム情報識別子 (下位) IGN_fundingStream														
23.4	Funding Stream	プログラム情報	jpcoar:fundingStream		TRUE	O	D-N	各資金配分機関内の助成カテゴリ (助成制度・事業等) の名前を記入する。			<jpcoar:fundingStream xml:lang="ja">ムーンショット型研究開発事業</jpcoar:fundingStream>													
23.5	Award Number	研究課題番号	jpcoar:awardNumber		FALSE	MA	D-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による (例: JP15H02781 (特許費))、awardURLは、助成団体が提供している当該助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入する。特許費の場合は、KAKENデータベースの該当するページのURLを記入する。			<jpcoar:awardNumber awardNumberType="IGN">JP15H02781</jpcoar:awardNumber>													
23.6	Award Title	研究課題名	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	D-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitle出現回数は1回までとする。		<jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle>													
24	Source Identifier	収録物識別子	jpcoar:sourceIdentifier		FALSE	MA	D-N	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子に依存する。identifierTypeは以下の統制語彙から選択して記入する。P-ISSN - E-ISSN - ISSN (非推奨) - NCID	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外のNCIDはjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) を使用する。junit2下位階層の識別子としてidentifierType="ISSN"を設けるが、原則使用しない。P-ISSNまたはISSNの別名が別な場合によって使用する。		<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="P-ISSN">1234-5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>	P-ISSN E-ISSN (非推奨) ISSN NCID												
25	Source Title	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	D-N	コンテンツの収録物タイトルを記入する。	日本語編纂名で和文、英文コンテンツが混在する場合は、本文の言語に応じて編纂名を記述することが望ましい。タイトルが複数ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。		<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会</jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>													
26	Volume Number	巻	jpcoar:volume		FALSE	MA	D-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句 (「巻」、「vol」、「号」、「号」など) は記入しない。巻号と通巻の両者が存在する場合は、巻号を採用する。	号または通巻のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま表記する。		<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>													
27	Issue Number	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	D-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句 (「号」、「issue」など) は除く。	号または通巻のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま表記する。号レベルより下位のレベルが存在する場合は (例えば volume3, issue2, part1 等の場合)、その下位レベルについては記入しない。		<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>													
28	Number of Pages	ページ数	jpcoar:numPages		FALSE	MA	D-1	コンテンツの総ページ数を記入する。			<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>													
29	Page Start	開始ページ	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	D-1	コンテンツの収録物における開始ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageEndも同様の値を記入する。巻 (volume) の場合、巻 (volume) のページと、号 (issue) の場合、号 (issue) のページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。		<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>													
30	Page End	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	D-1	コンテンツの収録物における終了ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageStartも同様の値を記入する。巻 (volume) の場合、巻 (volume) のページと、号 (issue) の場合、号 (issue) のページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。		<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>	identifier												

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック										
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返 回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化mgなし	正規化mgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング							
31	Dissertation Number	学位授与番号	dndi:dissertationNumber		FALSE	MA	D-1	学位授与番号を記入する。		<dndi:dissertationNumber>甲第5384号</dndi:dissertationNumber>	科研費機関番号 (数字5桁) + [甲>A 乙>B 他>2] + 報告番号の形式 (Junii2 ver 3.0) は推奨しない。 <dndi:dissertationNumber>15301A5384</dndi:dissertationNumber> 科研費機関番号 (数字5桁) + [甲 乙] + 第+報告番号+号の形式 (Junii2 ver 3.1) は推奨しない。 <dndi:dissertationNumber>15301甲第5384号</dndi:dissertationNumber>		description	xml:lang属性は切り替える。												
32	Degree Name	学位名	dndi:degreeName		TRUE	MA	D-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。		<dndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dndi:degreeName> <dndi:degreeName xml:lang="ja">博士 (文学) </dndi:degreeName>										①xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)						
33	Date Granted	学位授与年月日	dndi:dateGranted		FALSE	MA	D-1	学位授与年月日を入力する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。		<dndi:dateGranted>2016-03-25</dndi:dateGranted>											①YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DDの妥当性チェック。(周年含む)					
34	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor			MA	D-N	学位授与機関の情報を記入する。		共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返して記入する。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja"> 東京女子医科大学 学芸部大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantor<記入することは推奨しない。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja"> 東京女子医科大学 学芸部大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>															
34.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	D-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。		<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>	e-Read NRID ORCID ISNI VIAF AD kakerhi ISNI Ringgold GRID	description	xml:lang属性は切り替える。							①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeが属集に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが属集別のフォーマットを満たしていない。(属集別参照)						
34.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	D-N	学位授与機関の名前を記入する。学位授与機関名の属集情報<xml:lang>のjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>											③xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)					
35	Conference	会議記述	jpcoar:conference			R	D-N	会議情報を記入する。		<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference>																
35.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	D-N	会議名を記入する。		<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>											①xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない				
35.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	D-1	会議の回次を記入する。		<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>																
35.3	Conference Sponsor	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	D-N	会議を主催する機関名を記入する。		<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>												①xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない			
35.4	Conference Date	開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	D-1	会議の開催日(属性)と表示用の開催期間(値)の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。		<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>																
			startDay	FALSE	MA	D-1	会議の開催が1日のみの場合、属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。																			
			startMonth	FALSE	MA	D-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日(YYYY)・月(MM)・日(DD)の形式で各属性に、表示用の開催期間を値に記入する。																			
			startYear	FALSE	MA	D-1	属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。																			
			endDay	FALSE	MA	D-1	属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。																			
			endMonth	FALSE	MA	D-1	属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。																			
35.5	Conference Venue	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	D-N	会議の開催場所はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各属性コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>												①xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
35.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	D-N	会議の開催地はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各属性コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>												①xml:langが重複している。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
35.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	D-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。		<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>												①ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。(属集に存在しない)				
36	Edition	版	dndi:edition		TRUE	O	D-N	主に図書館資料の版に関する情報を記入する。		一般書籍の例 <dndi:edition xml:lang="ja">改訂新版</dndi:edition> 和訳書の例 <dndi:edition xml:lang="ja">岩波版</dndi:edition> 漢訳の例 <dndi:edition xml:lang="ja">寛政34年序書原本の翻刻</dndi:edition>													①xml:langが属集に存在しない。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
37	Volume Title	巻名	dndi:volumeTitle		TRUE	O	D-N	多巻物の共通のタイトル(巻タイトル)をdc:titleに記入した場合、各巻の巻名はここに収める。一つの巻次行が複数にわたって行われる時、その巻又は巻に付けられた巻名もここに収める。巻次・部編番号の入ちも可能とする。各巻物のタイトル及びその他の関連する情報。又は逐次刊行物の部編名に収める場合は、日本語の三三三"Ja-Kana"または"Ja-Latin"を使用し、それぞれ収める。ローマ字で記入する。また、目次を記入する場合は目次とは別にxml:lang="ja"にした情報を必ず記入する。		最大出現回数は定めず、一つの情報源が複数の巻を持つ場合は要素を繰り返して、それらを全て収める。 部編名の一部に属集の数を記述することを許容する。 原本の巻次・部編番号と、デジタル化した単位で付された巻次・部編番号の記載が存在する可能性があるが、双方許容してよい。	<dndi:volumeTitle xml:lang="ja">近畿.△2 三巻・和歌山・大阪・兵庫</dndi:volumeTitle> <dndi:volumeTitle xml:lang="ja-Kana">キン.△2 ミエ ワカヤマ オオサカ ヒョウゴ</dndi:volumeTitle>											①xml:langが属集に存在しない。 ②xml:langが属集に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	正規化		エラーチェック					
													oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング	
38	Original Language	原文の言語	dcdi:originalLanguage		FALSE	O	0-N	コンテンツ本文が翻訳・翻案等で原文がある場合、その原文で用いられている言語を記入する。 ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロラングエージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。 値コードを記入しない。 巻頭語の語、巻頭の語に記入する。 翻訳・翻案等が併記・再翻訳等である場合、直後の翻訳対象となった原文の言語を記入する。 原文と翻訳が同時に対応している場合(対訳)は、両方の言語をdc:language (言語)、原文の言語をdcdi:originalLanguage (原文の言語) に記入する。 複製資料の場合は、複製の対象となった資料の言語ではなく、翻訳・翻案等に対する原文の言語を記入する。 例：以下の場合、Cがコンテンツ本文とすると、Cの原文の言語はAの言語である英語 (eng) となる。 C.複製資料 (Bを複製)：日本語 (jpn) B.複製の対象となった資料 (Aを翻訳)：日本語 (jpn) A.翻訳・翻案等に対する原文：英語 (eng)	コンテンツ本文の原文が英語 <dcdi:originalLanguage>eng</dcdi:originalLanguage> コンテンツ本文の原文が日本語 <dcdi:originalLanguage>jpn</dcdi:originalLanguage> 対訳で原文が英語、翻訳・翻案等が日本語 <dc:language>jpn</dc:language> <dc:language>eng</dc:language> <dcdi:originalLanguage>eng</dcdi:originalLanguage>	ISO-639-1は推奨しない。 <dcdi:originalLanguage>ja</dcdi:originalLanguage> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dcdi:originalLanguage>engjpn</dcdi:originalLanguage> 大文字や半角文字を使用しない。 <dcdi:originalLanguage>JPN</dcdi:originalLanguage> <dcdi:originalLanguage>eng</dcdi:originalLanguage> <dcdi:originalLanguage>e n g</dcdi:originalLanguage> 言語名を記入しない。 <dcdi:originalLanguage>日本語</dcdi:originalLanguage> 値を記入しない。 <dcdi:originalLanguage>US</dcdi:originalLanguage> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dcdi:originalLanguage>en_US</dcdi:originalLanguage>				①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換	①言語が存在しない			
39	Extent	大きさ	dcterms:extent		TRUE	O	0-N	デジタル化資料のメタデータ記録には、原資料の大きさと複製ファイルの設置の両方が存在する可能性がある。複製ファイルのサイズについてはサイズ (jpcoar:extent) に記入する。 物理的な記録形式については物理的形態 (jpcoar:format) に記入する。 複製資料を記載する際は「本体の記録△△+付属資料の記録」とする。	印刷ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">図版△△19cm</dcterms:extent> 1枚の資料、複製の場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">1枚△△92×172cm</dcterms:extent> 付属資料(CD-ROM)ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">22cm△△+△CD-ROM1 枚 (12cm) </dcterms:extent>						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
40	Physical Format	物理的形態	jpcoar:format		TRUE	O	0-N	最大出現回数は定めて、一つの資料が複数の情報を持つ場合、それぞれを全て記述する。 コンテンツの大きさや付属資料等は、大きさ (dcterms:extent) を使用する。 コンテンツのファイル形式はjpcoar:mimeType (ファイル形式) を使用する。	<dcterms:format>紙本</dcterms:format> <dcterms:format>書物</dcterms:format> <dcterms:format>購入</dcterms:format>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
41	Holding Agent	所属機関	jpcoar:holdingAgent			O	0-1	当該複製資料または原本を保有する所属機関を記入する。		<jpcoar:holdingAgent> <jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier> <jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName> </jpcoar:holdingAgent>										
41.1	Holding Agent Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:holdingAgentNameIdentifier		FALSE	O	0-1	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマで保存する (例: 00000012192176X (ISND)、https://ror.org/057zh3y96 (ROR))。nameIdentifierSchemeはIDを識別するスキーマ名を以下の制限語彙から選択して記入する。- kakenh【非推奨】 - ISNI - Ringgold - GRID【非推奨】 - ROR - FAND - ISIL - MARC - OCLC - nameIdentifierURIはIDの値をHTTP URI形式 (例: https://isni.org/isni/000000121691048 (ISNI) https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:holdingAgentNameIdentifierの値は登録等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:holdingAgentNameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier>						①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeが語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)		① nameIdentifierScheme="kakenh"GRIDが指定されている。
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1													
			nameIdentifierURI		FALSE	O	0-1													
41.2	Holding Agent Name	所属機関名	jpcoar:holdingAgentName		TRUE	O	0-N	機関ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、館名など下位組織の所属は記入しない。所属機関名が複数登録ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて他の言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:holdingAgentNameの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
42	Dataset Series	データセットシリーズ	jpcoar:datasetSeries		FALSE	O	0-1	共通の特徴を有するデータセットの集合体である場合にtrueを設定する。データセットシリーズに属するアイテムからデータセットシリーズにリンクする場合はjpcoar:relation (関連情報) のrelationTypes="inSeries"を用いる。データセットシリーズからデータセットシリーズに属するアイテムにリンクする場合はjpcoar:relation (関連情報) のrelationType="hasPart"を用いる。	データセットとはデータの集合体を意味するが、デジタルアーカイブ等で採られる単一のデータについてもデータセットとみなし、その共通的特徴を有する集合体を表現するものとしてデータセットシリーズを使用できる。	<jpcoar:datasetSeries True</jpcoar:datasetSeries>	True False				①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①言語が存在しない			
43	File	ファイル情報	jpcoar:file			MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://usar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Created">2016-01-01</datacite:date> <datacite:version>1.2</datacite:version> </jpcoar:file>										
43.1	URI	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。特許論文の場合、要約はsummary、要約はabstractを使用する。論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://usar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf</jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>										
			objectType		FALSE	MA	0-1													
			label		FALSE	O	0-1													
43.2	File Format	ファイルフォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANAに登録されているMIMEメディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type (資源タイプ) を使用する。コンテンツの分置はjpcoar:extent (サイズ) を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>	format				①全角 -> 半角		①MIME Typeの形式チェック (英数字、"-",".",":","@","_","/"のみ、先頭と末尾以外に1つ以上の"/")		
43.3	Size	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分置等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart (開始ページ)、終了ページはjpcoar:pageEnd (終了ページ) を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>										
43.4	Date	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formatsで規定する形式 (YYYY, YYYY-MM, YYYY-MM-DD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD) で記入し、日付の範囲はRIMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の制限語彙から選択し必ず記入する。- Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	dcterms:accessRights (アクセス権) で "embargoed access" を指定し、コンテンツ本体の単位でエンコード期間が異なる場合、dateTypeに "Available" を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンコード終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date> 日付の範囲がある場合 <datacite:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①全角 -> 半角 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③W3C Date and Time Formats、RIMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 (http://www.iso.org/iso/home/standards/iso8601.htm)		①日付の正規化		
			dateType		FALSE	M	1													
43.5	Version	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報、コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。メジャーバージョン番号/マイナーバージョン番号の形式で記入することが望ましい。	データのバージョンのみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョンの変更の際は新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報についてはdatacite:version (バージョン情報) またはdc:version (出版タイプ) を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>						①全角 -> 半角		①と②のいずれかを満たさないものはエラーになる。 ①[0-9]+[0-9]+の形式 ([(数字)[ビリド][数字]) ②[0-9]+の形式 ((数字)のみ)		

JPCOARスキーマ ver.2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック												
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化magなし	正規化magあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング									
44	Catalog	カタログ	jpcoar:catalog		FALSE	O	0-1	デジタルアーカイブ等のデータベース単位の情報 (カタログ情報) を記入する。IRDB利用時は「コミュニティサポート by JPCOAR and NII」にカタログ情報を登録する。		<jpcoar:catalog> <jpcoar:contributor contributorType="HostingInstitution"> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">東京大学</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:contributorName> </jpcoar:contributor> <jpcoar:identifier identifierType="URI">https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/</jpcoar:identifier> <dc:title xml:lang="ja">東京大学学術図書館アーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">トウキョウダイカクカワクジシヤンツウツウアーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">U Tokyo Academic Archives Portal</dc:title> <datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Other">東京大学学術図書館アーカイブズポータルは、「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」により構築されたポータルサイトです。当事業によりデジタル化された資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを、横断的に検索することができます。 </datacite:description> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">書籍</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">人文学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">経済学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">工学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">農学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">文学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">文化史</jpcoar:subject> <jpcoar:license xml:lang="ja" licenseType="metadata" rdf:resource="https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/help/colletion">連携コレクション</jpcoar:license> <dc:rights xml:lang="ja">著作権の帰属はコレクションによって異なる</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">copyright</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">open access</dc:rights> </jpcoar:file> <jpcoar:file><jpcoar:URL objectType="thumbnail">https://xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URL></jpcoar:file> </jpcoar:catalog>																		
44.1	Hosting Institution	提供機関	jpcoar:contributor		FALSE	MA	0-N	データベースの提供機関情報を記入する。		<jpcoar:contributor contributorType="HostingInstitution"> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">東京大学</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:contributorName> </jpcoar:contributor>	HostingInstitution											①jpcoar:contributorNameが存在しない。						
44.1.1	Hosting Institution Name	提供機関名	jpcoar:contributorName		TRUE	M	1-N	データベースの提供機関名を記入する。													①語彙に存在しない。							
44.2	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	データベースの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマで依存する (例: https://doi.org/10.18926/AMO/54599 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://oasclib.okayama-u.ac.jp/ja/54599 (URI)) . identifierTypeには以下の制約語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI		<jpcoar:identifier identifierType="URI">https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/</jpcoar:identifier>	DOI HDL URI										①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③識別子Typeが存在しない。 ④identifierTypeの語彙に存在しない。 ⑤URI形式チェック							
44.3	Title	タイトル	dc:title		TRUE	MA	0-N	データベースの名称を記入する。		<dc:title xml:lang="ja">東京大学学術図書館アーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">トウキョウダイカクカワクジシヤンツウツウアーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">U Tokyo Academic Archives Portal</dc:title> <dc:title xml:lang="en">U Tokyo Academic Archives Portal</dc:title>	xml:langが設定がない。記入は推奨しない。 <dc:title xml:lang="ja">東京大学学術図書館アーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">トウキョウダイカクカワクジシヤンツウツウアーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">U Tokyo Academic Archives Portal</dc:title> <dc:title xml:lang="en">U Tokyo Academic Archives Portal</dc:title>									①xml:langが設定されている。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するときは、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するときは、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。 ⑤xml:lang属性のみ非登録になる。								
44.4	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N	データベースの内容を示す情報を記述する。descriptionTypeには以下の制約語彙から選択して記入する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other		<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Other">東京大学学術図書館アーカイブズポータルは、「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」により構築されたポータルサイトです。当事業によりデジタル化された資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを、横断的に検索することができます。</datacite:description>	Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other									①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)								
44.5	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	データベースの内容を表す。分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDL - NDLCSH - SoVal - UDC - Other subjectURIにはIDの番号をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/00575529) .		ジャンルサーチにおけるカテゴリの例 <jpcoar:subject subjectScheme="Other">書籍</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 名称 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLCSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>	BSH DDC MeSH LCC LCSH MeSH NDC NDLCSH SoVal UDC Other										①語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別参照) ②全角 -> 半角 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ) ④subjectSchemeが存在しない。							
44.6	License	ライセンス	jpcoar:license		TRUE	R	0-N	二次利用に関するライセンス情報について、ライセンスの正式名称とバージョン情報を記入する (例: Creative Commons Attribution 4.0 International) . ライセンスにURIがある場合、rdf:resource:HTTP URI形式で記入し、再刊の条件を明示することを推奨する (例: https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en) . ライセンス情報以外の知的財産や著作権等に関する情報はdc:rightsに記入する。デジタルアーカイブのライセンスについては、メタデータ連携ガイドライン (https://es.ndl.go.jp/information/guideline_2/#9) を参照すること。		ライセンス情報は短縮形で記入しない。 <jpcoar:license xml:lang="en" licenseType="metadata" rdf:resource="https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/deed.en">CC0</jpcoar:license>	file metadata thumbnail										①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③言語コードの変換 (xml:langのみ)							
44.7	Rights	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	知的財産や著作権等に関する権利情報を記入する。ライセンス情報はjpcoar:licenseに記入する。自由記述するが、出版者の権利者からの指定がある場合は、その旨に記す。権利情報には以下の制約語彙を使用する。 - rdf:resource:HTTP URI形式で記入し、条件を明示することを推奨する。		<dc:rights xml:lang="ja">著作権の帰属はコレクションによって異なる</dc:rights>											①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③言語コードの変換 (xml:langのみ)							
44.8	Access rights	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	データベースのアクセス状態を記入する。以下の制約語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限。 rdf:resourceには各制約語彙に対応するCOAR Access RightsのURIを記入する。		<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>	embargoed access metadata only access restricted access open access											①語彙に存在しない。						
44.9	Thumbnail	代表画像	jpcoar:file		FALSE	O	0-1	データベースの代表画像の情報を記入する。		<jpcoar:file><jpcoar:URL objectType="thumbnail">https://xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URL></jpcoar:file>																		
44.9.1	Thumbnail URI	代表画像URI	jpcoar:URL		FALSE	O	0-1	データベースの代表画像のURIを記入する。		<jpcoar:URL objectType="thumbnail">https://xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URL>	thumbnail										①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換							